



令和6年度 日向市立富高小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

| | |
|----------|--|
| 学校経営ビジョン | 「心のふるさと 富高小学校」 『～ “ゆめ” を支え、“やさしさ” を育む～』 |
|----------|--|

【評価基準 4段階評価 4…期待以上 3…期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

| 重点指導項目 | | 方策手立て | 評価内容 (児…児童 保…保護者 職…職員) | 自 己 評 価 | | | ◆ 学校の自己評価コメント・改善点等 □ 学校運営協議会のコメント |
|---------------|------------------|-----------------------------------|---|---------|------|-----------------|---|
| | | | | 昨年度 | R 6 | 総合 | |
| 確かな学力の向上をめざして | 教師力・授業力の向上 | 1 O J Tの推進 | 児：学校は、楽しい。 | 3. 3 | 3. 5 | 3. 1 (3. 1) | ◆ 楽しく学校通うことができると児童・保護者が感じ、満足・充実を与えられるような環境の作りもできる。職員も日々努力し、ICT活用を図りながら、学力向上を目指している。今後も指導向上や授業改善努力、継続して取り組んでいく必要がある。 ◆ 本年度実施した全学年力・学習状況調査(6年)では、国語科は全国・県を上回り、算数科は全国 県とは同等であった。結果分析を行い、年度末までに当該年次の内容を再度指導を行い、理解を深めさせ、次学年へつなげていきたい。職員も年度末から指導を重ねて行い、児童も努力を重ねた成果が表れていた。 ◆ 読書に関する評価項目は年度と比べ、大幅な向上は見られなかったが、読書意欲の向上につながる手立ての工夫をいろいろと図り、読書意欲は大きく伸びていて、年間1万冊を超えている。家庭では、読書する姿よりメディア優先の発用数に減ると考える。 □ 総合評価の数値に大きく変化は見られなかったが、職員の指導と児童の努力もあり、学力向上をめざした取組が確実に実を結んでいる。 □ タブレットを活用したテスト回答、集会など時代の進歩を感じる。ICT活用によって、児童の自主学習が促進されている効果もでているようなので、今後もさらに進んでいくと思われる。 □ 読書の冊数が増えているが、保護者の期待する数にはまだ届いていないのではと思われる。個人差があり、読んでいる児童は垣外から読書する姿も見られていると思う。 □ 辞典を引く習慣はあるのだろうか。語彙力や書く力が育っているのだろうか。保育園の卒園記念品は辞典を贈っているが、少しでも辞書などに触れてもらいたい。 |
| | | 2 相互授業参観の実施 | 保：子どもは楽しく学校に通っている | 3. 2 | 3. 5 | | |
| | | 3 校内研修・個人研修の充実 | 職：児童が楽しいと感じるかわかりができた。 | 2. 9 | 3. 1 | | |
| | 「わかる・できる」授業の実践 | 1 ひなたの学びの推進 | 児：授業は、分かりやすい。 | 3. 5 | 3. 4 | | |
| | | 2 I C Tの活用 | 保：先生は、分かりやすい授業をしている。 | 3. 3 | 3. 6 | | |
| | | | 職：「わかる・できる！」授業の実践ができた。 | 3. 0 | 2. 9 | | |
| | 読書活動の推進 | 1 読書の時間の確保 | 児：読書をよくしている。 | 2. 9 | 2. 8 | | |
| | | 2 感性や想像力の醸成 | 保：子どもは読書をよくしている。 | 2. 4 | 2. 4 | | |
| | | 3 学校図書館・巡回文庫の利用 | 職：読書の時間を設定し、読書活動の充実を図ることができた。 | 3. 0 | 3. 1 | | |
| 児童が楽しいと感じる学校 | 特別支援教育の充実 | 1 インクルーシブ教育の推進理解 | 児： 学級は誰にとっても過ごしやすい場所になっている。 | | 3. 3 | 3. 2 (3. 1) | ◆ コロナが流行り、感染症への不安が続き、多くの児童は、元よく登校し、充実した日々を過ごしていることが分かる。また、保護者も安心して学校へ通わせていると考えている。その中でも、登校前の児童の不安を感じる児童については、適宜情報共有を行い、早期見解解に努められるよう、生活指導士を中心として取り組んでいる。さらに、特別支援教育の面からのアプローチも充実させてきた1年となった。今後も継続的に行い、児童が安心して学校生活を送ることができるように支援していくことが必要である。 ◆ あいさつや関係づくりの取組は今年度も継続して取り組んでいる。しかし、地域の人や安全監視等への気配が表れなかったり、備前もある。 ◆ 時と場合に応じた言葉遣い、がきなど場面で見られることから、また、職員も丁寧で、肯定的な表現を心がけることで、実効の改善につながる必要がある。 ◆ 今年度からスクールテレビPBSSの取組、各机着席「あいさつ 廊下歩き」を実施し、児童のより行動に注目する声かけを継続している。 □ 先生方が肯定的な表現を心がけていることが素晴らしい。相手も思いやりが伝わって、安心して学校生活を送ることができる環境が整っていくと思う。 □ 今後も楽しい学校づくりの取組を継続していただきたい。 □ 地域での活動はあまり見られなかったが、新しい取組が気づいている。保護者の責任でもあるが、家庭の教育力の向上にも取り組まなければならないと感じている。 □ 登校しづらい児童を見かけたり、担任の先生が寄り添って話を聞くと、安心して登校していた。先生を信頼しているのを感じ、教員の精進が感じられた。 □ 広見地区で環境の児童が集まり、世間話のイベント大会を計画していたが、天候悪く、公民館内で備前やクイズ、ビンゴ大会などを行い、バーベキューも楽しめた。たくさんの児童が集まって盛況に開催できた。 |
| | | 2 ユニバーサルデザイン導入授業づくり | 保： 先生は子ども達のことをよく分かってくれている。 | | 3. 1 | | |
| | | 3 児童理解の推進 | 職： 児童理解に立った学習指導・生徒指導ができた。 | | 3. 1 | | |
| | いじめ・不登校への積極的対応 | 1 教育相談の充実 | 児：友達と遊ぶことをしたり、いじめたり、いじめられたりするところを見たことがある。学校を休まず、元気よく登校している。 | 2. 9 | 3. 3 | | |
| | | 2 チームでの対応 | 保：子どもは、友人関係は良好である。 | 3. 2 | 3. 1 | | |
| | | 3 関係機関との連携 | 職：いじめ・不登校ゼロの未然防止、早期発見・解決に努めることができた。 | 3. 1 | 3. 2 | | |
| | あいさつの励行、無言清掃の徹底 | 1 主体的な取組 | 児：気持ちのよいあいさつや返事ができている。 | 3. 4 | 3. 5 | | |
| | | 2 自信・思いやり | 保：子どもは、気持ちのよい返事やあいさつをしている。 | 2. 9 | 3. 0 | | |
| | | | 職：あいさつ向上のための取組ができた。 | 3. 0 | 3. 1 | | |
| たくましい身体育成 | 体力テストの課題の克服 | 1 運動量の確保 | 児：よく運動をしている。 | 3. 4 | 3. 4 | 3. 2 (3. 2) | ◆ 体力テストを実施し、A判定児童男子9%、女子5%、DE判定児童男子33%、女子34%であった。コロナ禍も明け、児童の体力向上を目指して学校全体で取り組んでいく必要がある。 ◆ 季節を問わず、運動の機会もあったが、開業等の措置は至らなかった。 ◆ 生活リズムの乱れが、児童の学習意欲や問題行動につながることもあり、家庭と連携しながら生活リズムの確立を目指していく必要がある。健康面や保健面について、学校からの啓発も進めてきた。 ◆ 様々な場面で運動に取り組むことができた。歯の治療は100%を目指して、治療の啓発を繰り返している。現在72.4%の児童の歯が整っている。今後も繰り返して家庭への啓発を行い、100%を目指していきたい。 □ たくましい体をつくるためには、基本的な生活習慣の定着が重要なので、家庭との協力体制を構築してほしい。 □ 運動会を見て、児童達も意欲的に活動している様子が見られた。表現(ダンス)や運動もみんなできたと満足で活動できた。体力づくりにも大に繋がっている。走る、跳ぶなどスポーツを楽しむことは健康につながる。 □ 食物アレルギーはどのように対応しているのか。また、年々アレルギー対応の児童も増えているのか。 → 除去食や学食で対応しており、エビなどを保健室に置いて、アレルギー対応の児童も増えていて、学校給食の状況を把握し、対応していくという事柄もある。 |
| | | 2 体力の二極化傾向への対応 | 保：子どもは、進んで運動をしている。 | 2. 9 | 3. 0 | | |
| | | | 職：体力テストの課題克服に向けた取組ができた。 | 2. 6 | 2. 7 | | |
| | 望ましい食生活と生活リズムの確立 | 1 食育の推進 | 児：早ね、早おきができている。 | 3. 1 | 3. 1 | | |
| | | 2 安心・安全な給食指導 | 保：子どもは、早寝、早起きの習慣が身に付いている。 | 2. 9 | 3. 0 | | |
| | | 3 メディアコントロール | 職：基本的な生活習慣の定着を図るための取組ができた。 | 3. 1 | 3. 2 | | |
| | むし歯治療率100% | 1 口と歯の健康・歯磨き指導の推進 | 児：食事のあとは歯みがきをして、歯を大切にしている。 | 3. 6 | 3. 6 | | |
| | | 2 保護者への周知・啓発 | 保：治療カードが届いたら、すぐに受診させている。 | 3. 2 | 3. 2 | | |
| | | | 職：治療の啓発、歯磨き指導の充実を図ることができた。 | 3. 0 | 3. 2 | | |
| 地域とともにある学校づくり | 地域人材・素材の積極的な活用 | 1 地域のひと・もの・こと理解推進 | 保：学校は、地域のひと・もの・ことを活用した取組をしている。 | 2. 8 | 3. 0 | 3. 1 (2. 9) | ◆ 地域の人材や素材を各学年で活用できた。生活科や社会見学等で積極的に取り入れることができた。 ◆ 今年度は、学校行事計画通り実施でき、150周年の企画も各方面の協力を得ながら、盛大に開催できた。 ◆ 緊急の要請等については、すぐ安心メールで伝え、柔軟に対応することができた。学校だけでなくホームページなどを活用し、学校の情報を保護者や地域に発信することができた。 ◆ 児童が自信をもって自分の夢や目標を語るができるように、キャリア教育支援センターの一層の活用を図りながら、キャリア教育の充実をめざしたい。 □ 学校のホームページが一年を通じて充実しており学校の様子を詳しく知ることができた。地域との交流やよなお教室等も充実していることもうかがえた。 □ コロナ前は、昔の童謡などで学校が歌ってもらったこともあったが、今はキャリア教育や学校教育の一環として行われている。地域とできるだけの協力をしていきたいと思う。 □ 学校創立150周年の企画では、地域との連携を大切にしながら、年間行事等とのタイアップにより無理なく盛大に開催され、児童の記憶に残ったと思う。 □ 安全・安心メールの迅速な柔軟な対応により、家庭や地域とつながる情報を発信していただき感謝している。 |
| | | | 職： 地域の人材・素材を活用した授業や取組を積極的に行った。 | 2. 3 | 3. 1 | | |
| | コミュニティ・スクールの推進 | 1 情報発信と熟議（しゃべり場） 2 取組のブラッシュアップ | 保：学校は、教育活動の様子や小中一貫教育の取組を家庭や地域に発信している。 | 2. 8 | 2. 9 | | |
| | | | 職： 通言やホームページ等を活用して、学校の情報を保護者や地域に発信することができた。 | 2. 9 | 3. 4 | | |
| | キャリア教育の推進 | 1 キャリア教育支援センターとの連携 2 よのなか先生の活用 | 保：子どもは自分のよさやこれからの目標について考えている。 | 3. 1 | 2. 8 | | |
| | | | 職： 地域の方や「よのなか先生」等の活用を図り、キャリア教育の充実を図ることができた。 | 3. 3 | 3. 1 | | |
| | | | | | | | |

※自己評価の総合（ ）はR 5の数値